

【ハラスメントセミナーvol.4 スタート編】
アンケート集計

参加 25名（アンケート 19名）回収率：76%

回答率		①今日のセミナーを受けようと思った理由はなんですか？（複数回答可）
1	48%	ハラスメント問題に興味があるから
2	31%	実際にハラスメント対策をしていて参考にしたかったから
3	14%	ハラスメントに遭ったことがあるから
4	7%	その他 ・映職連で問題となり勉強しに来た ・学んでみたかったの

		②他で同じようなハラスメントセミナーを受けたことはありますか？
1	72%	いいえ
2	28%	はい

		③今日のセミナーで興味深かったことはなんですか？（複数回答可）
1	27%	仕組み作り・被害者対応について
2	17%	モラハラ
3	12%	ハラスメントの定義
	12%	セクハラ労災
4	10%	法的な定義
	10%	ハラスメントの構造
5	6%	パワハラ
	6%	その他 ・全て考えさせられました ・質疑応答の質問、対策をされている方の意見が参考になった。 又、取り組みが素晴らしいと思った

		④今後ご自身の仕事場や組織で、ハラスメント対策をしていこうと思いますか？
1	94%	していこうと思う [理由] ・必要だから。現場がよくなるから。 ・軽視はキケンと感じました ・我々の職場でも問題になっている!! ・防止したい ・ガイドラインでスタッフを守る ・時代の動きを鑑みる ・すでに訴えが何件もあり、対策が後手に回っている。急ぐ必要あり。 ・組織を作ろうと思っているから
2	6%	わからない [理由] ・まずは自分が気を付けていこうと思いますが、周り全体を考えると具体的にどうしたらいいのかわかりません
-	-	しようと思わない

⑤日本の法律でも、ハラスメント防止規則やハラスメント通報窓口の設置が義務付けられています。芸能界にもハラスメントを防止する規則や、ハラスメントを通報する窓口があった方がいいと思いますか？		
1	100%	思う
-	-	思わない（必要ない）

⑥ハラスメントセミナーで今後扱って欲しいテーマはなんですか？		
1	40%	法的側面からの考察
2	27%	被害者向けのセミナー
3	20%	SOGI（セクシャルマイノリティ）、LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー）などの性自認について
4	13%	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・窓口を作れるような組織作りがわかりません ・被害者の回復に向けてできること

⑦日本俳優連合に希望することがありましたらご自由にお書き下さい。		
<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーに参加して参考になりました。ありがとうございました!! ・今後もお願いします ・このセミナーを色んな人に、特に職場のえらい方に受けて欲しいと思った。かなり日本の職場の上司たちは関心が薄い。 		

⑧今日のセミナーを受けて、ご感想・ご意見などをご自由にお書き下さい。		
<ul style="list-style-type: none"> ・とてもわかりやすかったです。今回のようなお話を聞くだけでも意識改革ができると思いました。 ・大変分かりやすく、とても勉強になりました。映像業界も、もっとハラスメントについて取り組んでいかなければならないと感じています。「芸術」という抽象的なものを扱っていることもあり、すでに時代遅れといわれるような、一般的なハラスメントが横行しているのだと思います。 ・単なる職場の人間関係トラブルと思っていたことが、まさにモラハラにあてはまることに驚きました。気を付けて勉強します。 ・非常に参考になったが、我々として対策していけるか課題が多い!! 前向きに検討していくように努める。 ・とても良いセミナー ・2回目ですがまた一層考えを固めました。企業として取り組みが必要ですね ・大変勉強になりました。参加して良かったと思います。 ・芸能界はハラスメント問題に疎いと思います。セミナー等に出席した人たちが現場で伝えることの大切さを学んだ。 ・大変考えさせられました。自分たちの連合に持ち帰って業界のこととして照らし合わせてみたいですね 		

◇ハラスメントセミナー vol.4 スタート編◇

講師：高山直子先生

日時：2019年12月2日（月）19時～21時

場所：芸能花伝舎A2

主催：日本俳優連合